

日本パーソナリティ心理学会第103回常任理事会議事録

日時：2011年11月19日（土）16：00～18：30

場所：東洋大学 6号館 6208教室

出席者：浮谷秀一理事長、堀毛一也副理事長、藤田主一、向田久美子、山崎晴美、渡邊芳之、家島明彦大会準備委員長

委任状：小塩真司（理事長）、中村真（理事長）、二宮克美（理事長）、松田英子（理事長）

事務局：加藤司（事務局長）太幡直也（幹事）

報告事項

I 各種委員会報告

1 機関誌編集委員会（渡邊委員長）

(1) 「パーソナリティ研究」の発行状況について

1) 「パーソナリティ研究」第20巻1号の発行状況について
9月上旬までに会員に発送された。

2) 「パーソナリティ研究」第20巻2号の発行状況について
現在著者校正中、12月中の発行予定である。

(2) 「パーソナリティ研究」の編集状況について

1) 「パーソナリティ研究」第20巻3号以降の編集状況
現在で採択論文が6本ある。審査中の論文は54本である。

(3) 投稿状況について

昨年12月から11月16日までの投稿状況は以下の通りである。

年	月	原著	資料	ショートレポート	展望他	合計	うち新システム	備考
2010	12	3	2	2	0	7		
2011	1	3	0	2	0	5		
	2	3	2	3	0	8		
	3	2	1	2	0	5		
	4	0	0	0	0	0		
	5	3	1	2	0	6		
	6	3	0	2	0	5		
	7	3	0	1	0	4		
	8	2	1	4	0	7		
	9	8	0	2	0	10		
	10	1	0	2	0	3	1	
	11	2	0	0	0	2	2	11/16
合計		33	7	22	0	62	3	

(4) 審査状況について

昨年12月から7月12日までの審査状況は以下の通りである。

年月	採択	要修正再審査	不採択	投稿取下	備考
2010/12	3	8	1	0	
2011/1	1	11	1	1	
2	1	10	0	1	
3	3	5	1	2	
4	3	7	0	1	
5	1	13	4	1	
6	1	3	1	2	
7	3	10	1	0	
8	4	6	1	0	
9	0	13	0	1	
10	5	3	5	0	
11	1	8	2	1	11月16日
合計	26	97	17	10	

(5) その他

1) J-STAGE 新システムへの移行について

9月27日よりJ-STAGE電子投稿審査の新システムが稼働し、新規投稿の受付はそちらに移行している。理事長より、新システムの説明が求められ、渡邊委員長より詳しい説明がなされた。

2 経常的研究交流委員会

特に報告なし。

3 広報委員会（家島副委員長：小塩委員長代理）

(1) 新規委員について

※任期は2011年度大会終了から2014年度大会終了まで

薊理津子（聖心女子大学・研究員）

梅本貴豊（名古屋大学・大学院生）

浦田悠（京都大学・研究員）

長谷川由加子（上智大学・大学院生）

承認された。

(2) 学会の各種「問合せ先メールアドレス」の変更について

迷惑メールが送られてきているため、メールアドレスを変更したい旨が提案された。

詳細な情報を得てから、議論することになった。

4 国際交流委員会（向田委員長）

(1) Funder 先生企画

第 20 回大会企画シンポジウム (9 月 2 日)、東洋大学 HIRC21 との共催による講演会 (9 月 5 日) とともに終了した。

(2) First World Conference on Personality (WCP)

9 月 7 日に協賛金として 500 ユーロ (手数料込 61,505 円) を振り込んだ。

program committee への参加依頼があり、代表を出すことを承認した。

(4) ICP2016 組織委員会

9 月 17 日、第 1 回 ICP2016 組織委員会が開催され、佐藤達哉が出席した。

5 学会活性化委員会 (藤田委員長)

(1) 「優秀大会発表賞」の受賞論文

本学会第 20 回大会 (京都光華女子大学) における「優秀大会発表賞」は、下記の 2 件に決定した。

* 万引きをする人に特有の特徴はあるのか—万引きの心理的要因に関する検討 (4) —

大久保智生 (香川大学教育学部)・堀江良英 # (香川県警察本部)・宮前淳子 # (香川大学教育学部)・宮前義和 # (香川大学教育学部)・江村早紀 (神戸市立北須磨小学校) # は非会員。

* Big Five にもとづく状況分類と「特性—状況」間の関連について—状況による行動傾向の変化に着目した研究—

西村紀彦 (首都大学東京大学院人文科学研究科)

6 各種電子化検討小委員会

特に報告なし。

II 日本心理学諸学会連合

(1) 日本心理学諸学会連合について (浮谷理事長)

特に報告なし。

(2) 心理学検定について

特に報告なし。

III 事務局報告 (加藤事務局長)

日本学術振興会による実地検査および意見交換について

出席者である渡邊委員長と加藤事務局長から、詳しい説明がされ、問題がないことが報告された。

IV 「パーソナリティ心理学ハンドブックについて」(堀毛担当委員)

順調に作業が続いていることが報告された。

V 日本パーソナリティ心理学会第 21 回大会について (家島委員長)

家島委員長より、進展状況が報告された。

VI その他

なし。

審議事項

I 選挙に関する件

1 選挙管理委員の構成

堀毛一也委員長、中村真、日向野智子、加藤司が承認された。

2 選挙の手続きについて

(1) 事務局で選挙を実施することが提案され、承認された。

II 第 102 回常任理事会議事録に関する件

第 102 回常任理事会議事録が承認された。

III 新入会員に関する件

2 新入会員に関する件

すでに ML で承認されている下記の入会希望者 10 名が追認された。

以上の新入会希望者の承認を受けて、11 月 18 日(金曜日)現在の会員総数は 886 名です。内わけは、賛助会員 1 名、名誉会員 7 名、一般会員 567 名、院生会員 275 名、学生会員 6 名。

IV 科学研究費の応募に関する件 (渡邊委員長・加藤事務局長)

平成 24 年度の科学研究費補助金への応募は断念したい旨が、加藤事務局長より提案され

た。

V その他

なし。

次回は、3月17日（土）の16：00から東洋大学で開催されることになった。